

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千葉みなと計画	階数	地上12F、地下0F
建設地	千葉県千葉市中央区問屋町111番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	209人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年7月26日
敷地面積	916㎡	作成者	
建築面積	496㎡	確認日	2023年7月26日
延床面積	4,517㎡	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q のスコア = 3.3		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.5</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 3.0</p>
LR 環境負荷低減性		
LR のスコア = 3.2		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<p>本建物は、千葉市の商業地域に計画された集合住宅である。敷地内には緑地を設けて、自然環境の保全や創出に配慮した計画としている。</p>	0	
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 遮音性能の高いサッシを採用し、建物内の音環境に配慮する。 建築材料は、規制対象外建材F★★★★を全面的に採用し、室内空気質の健全化に配慮する。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 劣化等級3を満足し、躯体の長寿命化に配慮する。 耐用年数の長い配管材料を採用し、耐用性に配慮する。 	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地内に中、高木をバランス良く植栽し、生物環境の保全と創出に配慮する。
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> LED照明や潜熱回収型給湯器を採用し、省エネルギーへ配慮する。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 躯体と仕上げ材の分別が比較的容易な計画とし、部材の再利用可能性向上へ配慮する。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 広告物照明の設置はせず、光害の抑制に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される